

「さいたま市文化財キャラクター」に関する情報提供資料

1 「さいたま市文化財キャラクター」制作の背景

現在、さいたま市には、国・県・市の指定をうけた文化財が、527あります。その中でも、国指定史跡「真福寺貝塚」や特別天然記念物指定70周年を迎えた「田島ヶ原サクラソウ自生地」など、国内でも有数の文化財が存在します。しかしながら、市民の認知度は低く、どの様に周知していくのが、課題となっています。

そこでさいたま市では、市民の皆様にもっとさいたま市の貴重な文化財を知っていただきたいという思いから、このたび市内の文化財と一緒にPRしていくマスコットを制作することにしました。

2 キャラクター制作依頼と応募数

令和4年7月から9月末まで、市内の市立高等学校3校と、大宮国際中等教育学校宛てにデザイン（名称含む）の募集を行ったところ、田島ヶ原サクラソウキャラクターデザイン2点、真福寺貝塚キャラクター3点の応募がありました。

3 キャラクター投票

令和4年11月15日（火）から12月23日（金）まで、さいたま市立小学校・中学校・特支援教育学校の児童・生徒にキャラクター投票の参加を呼びかけたところ、15,064名の投票があり、それぞれ投票数の高かった2点を、「さいたま市文化財キャラクター」として決定しました。

4 「さいたま市文化財キャラクター」 受賞者及びキャラクター紹介

作成者	さいたま市立大宮国際中等教育学校 3 学年
キャラクター名	サクラソウサギ
設定	さいたま市のサクラソウを自主的に守っているウサギ(とサクラソウ)の化身。自分に自信がないところもあるが、やさしくて人懐っこく、サクラソウが好き。 言葉は話せないけど、なんとなく身振り手振りで大体考えていることは分かる。わかりやすいやつ。
デザイン 	サクラソウの花のかたちをイメージしてデザインを行いました。 耳と、周りのほっぺのあたりのギザギザした毛並みを合わせて、サクラソウの五枚の花びらになるようにしました。 緑色のマントのようなものは、サクラソウの葉っぱをイメージしています。

②「真福寺貝塚」

作成者	さいたま市立大宮国際中等教育学校 3 学年
キャラクター名	福みみーズ
設定、デザイン 	作成したキャラクターはモチーフである貝塚と、真福寺貝塚から発掘された重要文化財であるミミズク土偶をイメージしたデザインになっています。 福みみーズは縄文人である福とその相棒であるミミで構成されるコンビです。福は縄文人らしい髪型とともに当時の縄文人が身につけていた耳飾りや勾玉、貝塚のイメージで貝の飾りをつけています。 身につけているマントは発掘された土偶に似た模様にし、コンビ感を強めました。マントの下に着ているものも、縄文時代に人が実際に着ていたとされる服をイメージしたデザインしました。 ミミは発掘された土偶をキャラクターらしく簡略化し、模様は福とお揃いになるようにしました。福耳になっているのは名前が駄洒落になっている(福耳(福みみ))ということで両方の耳を福耳にしました。

※設定、デザインの紹介文は、生徒によるものです。